

群竹



3月も半ばを過ぎ、今年度も残りわずかとなりました。卒業式が行われた月曜日は雨でしたが、翌日からは温かい日が続き、校庭の桜のつぼみが日一日と膨らみを増しています。既に東京では桜の開花が発表されましたが、本校の桜も間もなく開花となりそうです。



【本日撮影した中庭の桜】

そして卒業式と同じ今週月曜日から、マスク着用が原則個人判断となりました。(学校におけるマスク着用の見直しは4月1日から)

ようやくマスクのない日常が戻ってくるように思いますが、思春期真っ只中の生徒たちの中には、マスク生活に慣れ、マスクを外すことを躊躇する生徒もいると思います。こうした生徒の思いにも寄り添いながら、マスクを外して学校生活を送れるよう教育活動を見直していく考えです。

◇卒業式から教育委員会告示について

3月13日(月)に実施された卒業式については、前号(さくら連絡網による配信のみ)で概要をお伝えしましたが、今号では教育委員会告示から、「教育委員会として3つの希望」を紹介します。

教育委員会告示(抜粋)

第1に、命あるもの全てを愛おしむ、広く、優しい心をもった心豊かな人になってください。今こうして生きていることのすばらしさに感謝し、周囲の人たちに感謝の気持ちを持ち、生命を尊重する心や他人を思いやる心、規範意識や公共の精神を携えた社会の一員として立派に成長されることを期待します。

第2に、自分の考えをしっかりと持ち、主体的に判断し、行動できる人になってください。そして、生涯にわたって自ら学ぶ姿勢をもち続け、自分のよさや可能性を見出し、伸ばして行ってください。自分自身の力で、それぞれの輝ける未来を切り拓いていくことを願っています。

第3に、心身ともに健康で、困難に打ち克つ強い意志をもった人になってください。これから皆さんが生きていく社会は、予測困難な変化の激しい社会となることでしょう。たとえ、困難なことに出会っても、変化を前向きに受け止め、周りの人と助け合いながら、粘り強く乗り越え、それぞれの目標に向かって力強く、たくましく生きてほしいと思います。

◇ 1・2年生は進級に向けて

冬休み明けの全校集会では、これから3月末までは、1年生は第2学年0学期、2年生は第3学年0学期という意識をもって過ごしてほしい旨の話を校長から生徒に伝えました。

そして今週、3年生が卒業し、2年生は最上級生として、1年生は中堅学年としての学校生活が始まりました。3月15日(水)、朝の学年集会では、両学年とも学年主任等から、進級に向けての心構えや今後の過ごし方などについて話がありました。

真剣に話を聞く生徒の姿から、進級に向けた自覚と意気込みを感じました。

1・2年生のこれからの活躍を期待します。



◇ 「当たり前のこと」を見直す

今年度本校では、生徒会が中心となって、「学校生活のきまり(いわゆる校則)」の見直しを行い、靴や髪型などの規定が変わりました。(今月末までは試行期間)

どの生徒も充実した学校生活が送れるよう、生徒自身が学校生活のきまりについて考え、見直しが行われたことは大変意義のある取組でした。

ところで、あいさつをすることや時間を守ることなどは、社会生活上不可欠で、「当たり前のこと」として、その価値が社会で共有されています。本校でも「当たり前のこと」が当たり前に行える田東中生」を合言葉に、自らを律し行動できるよう呼びかけています。しかし、「当たり前のこと」は世代や地域によってとらえ方が異なる場合があります。また、時代と共に「当たり前のこと」が変化する場合があります。

「何も考えずに「当たり前」ばかりをやっている●●●●が、自分の頭で考えずに、何でも人のせいにする大人をつくる」

厳しい言葉ですが、元千代田区立中学校長 工藤 勇一 先生の著書の中の一文です。大切なことは「当たり前のこと」だからそのとおり行動するのではなく、行動の意味を自分でしっかり考え、判断し、行動することです。

◇ 改めて留守番電話機導入のお願い

昨日(3/16)付け通知にてお知らせしたとおり、本日3月17日(金)から、夜間休日の電話については留守番電話対応となります。ご不便をおかけする点があるかと思いますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。